

八幡平市

真冬に熱気。国際交流村で雪っこフェスタ

親子などで雪遊びを楽しんでもらおうと焼走り雪っこフェスティバル(西根町観光協会主催、工藤勝治会長)は1月28、29の両日、岩手山焼走り国際交流村で行われました。会場は、今冬の大雪で一面銀世界。穏やかな天候にも恵まれ、家族連れや若者のグループなど約300人が来場し、多彩なイベントで雪遊び



スノーモービルでバナナボートを引っ張る「スノーモビルそりっこ」は、親子などに大人気。遠心力を利用して雪上を滑るボートは、スピードもありスリル満点



昼食には、温かいとん汁が振る舞われました

「人犬一体」で犬ぞりが雪原を駆け抜ける

犬ぞりレースの第5回マッシュャーズチャンピオンシップin岩手山(同実行員会主催)は1月14、15の両日、岩手山ろく特設コースで行われました。この大会には、全国から犬ぞり愛好家が参加。犬の頭数別にタイムを競うスプリントレースなど、2日間で12レースが行われました。マッシュャー(犬ぞりの乗り手)は、時速30kmに達する犬ぞりを巧みに操り、雪原を気持ちよさそうに駆け抜けました。



マッシュャーと犬が息を合わせ、雪原を駆け抜けました

を楽しみました。

人気のイベントはスノーモービルを使った体験コーナー。周回コースを2周する体験試乗や、特設コースを運転するミニツアール、スノーモービルで引っ張るバナナボートに乗り、スリルを味わうそりっこで楽しみました。このほか、かんじき体験や親子チューブそり競争、雪上宝探しも行われ、会場には子どもたちの元気な声がこだましました。

同イベントは、前回までスノーモービルフェスティバルとして開催されていましたが、雪遊びを広くPRしようと、今回から名称を変更しました。

平館高が渋川小で初の朗読ボランティア



手作りの紙芝居を渋川小児童に読み聞かせる平館高生

平館高校(内沢英明校長生徒345人)の生徒は1月31日、渋川小学校(斎藤正太郎校長、児童20人)で初めて朗読ボランティアを行いました。

図書委員を中心とした生徒14人が訪問。児童とハンカチ落としやジャンケンゲームを楽しんだ後、宮沢賢治の「どんぐりと山猫」を朗読しました。西根地区に伝わる「十二支から外された猫」も手作りの紙芝居で披露し、児童たちは民話の世界に引き込まれました。